

2024年度(令和6年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	76.1	17.4	2.2	4.3
女子	68.1	17.0	4.3	10.6

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	71.7	19.6	2.2	6.5
女子	70.2	19.1	6.4	4.3

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	69.6	21.7	6.5	2.2
女子	57.4	31.9	6.4	4.3

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.29	19.09	35.09	32.60	51.18	8.94	155.72	19.39	51.84	女子	14.21	18.07	41.74	32.98	41.70	9.35	145.96	13.57	54.57

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

「運動やスポーツをすることは好き」と回答する児童の割合は広島県・全国平均より高く、加えて「保健・体育の授業は楽しい」と回答する児童の割合も高いことから、意欲的に取り組もうという気持ちを持ち、積極的に体育の授業を受けていることが分かるが、結果として体力の向上につながっていない。そのため、授業の振り返りの項目において自分の体の動きを見て巧緻性や敏捷性などの調整力について振り返る機会を作ったり、友達同士でそれを見合い、アドバイスしたりする機会が不十分であったということが考えられる。

体力面

「週に3日以上運動やスポーツをしている」と回答する児童の割合は約60~70%と高く、日常的に運動やスポーツに取り組んでいる児童が多いことが分かるが、いくつかの実技項目で力を発揮できていない。そのため、授業の中で筋力や敏捷性を高める取組や場の設定が不十分であったということが考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・準備体操で鬼ごっこに取り組んだり、鉄棒の単元の中で、一定時間棒にぶら下がったりするなど敏捷性や筋力を高める場の設定を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

・児童会活動や各学級の係活動と関連させながら休憩時間を使って、敏捷性を高める運動を行う。

2025年度(R7年度)の重点目標値

・反復横跳びの体力点を上げることを中心に、県平均・全国平均よりも上回る数値をとることができるようにする。